

暦のうえでは春といいながら厳しい寒さがつづきます。皆様&動物家族はお元気にお過ごしでしょうか？
病院は一年で一番のんびりした時期です。お日様がでると嬉しくなって陽だまりで猫達と日向ぼっこをしています。
少し片付けものでもすればいいのかもしれませんが・・・なかなか。
お日様のぬくもり、お鍋の美味しさ、お布団の暖かさ、冬があったればこそ感じられる喜びかもしれません。

平成25年2月8日



お知らせ

春のスケジュールです。

3月：ノミ・ダニ予防開始 気温13℃を超えたら予防を開始しましょう。

4月：狂犬病予防注射 昨年、接種を受けている子には3月半ばに保健所から葉書が届きます。

4月～5月半ば：フィラリア検査と予防

*フィラリア予防薬についてのアンケートをお願いしております。巻末に質問を記載しておりますので、是非、メールでもご意見をお聞かせ下さい。



健康トピックス

- 国内で始めてマダニが媒介したとみられる「重症熱性血小板減少症候群」という疾病で昨年秋に死亡者がでたと厚生労働省から発表がありました。マダニがひきおこす感染症には日本紅斑熱、ライム病、ツツガムシ病などがあり毎年感染者がでています。侮るなかれノミダニ予防！です。
- ヒルズコルゲートから新しい減量食が発売されました。その名も“メタボリックス” 十分な食事量で、おやつを食べても減量できるということです。あまりにも良いことづくめなので、まずはうちのメタ猫で効果を試してみます。効果が実証できましたら是非、ぽっちゃんりちゃん（当院にご来院の7割くらいです）にお勧めしたいと思います。

■ 狂犬病 ■



愛犬家の皆様にとって狂犬病予防接種は春の風物詩のようなものですね。誰もが知っているこの狂犬病予防について少々お話をしたいと思います。へえー知らなかった、ということがあるかもしれませんよ。

[狂犬病とは狂犬病ウイルスを病原体とするウイルス性の人畜共通感染症であり、人を含めたすべての哺乳類が感染する。発症後の死亡率はほど100%で確立した治療法はない] という大変恐ろしい病気です。

日本国内では昭和31年に人、32年に猫の感染を最後に発生がありませんが、今だ世界では多くの発生があり、毎年、数万人もの命が失われています。（撲滅されているのは日本、オーストラリア、英国など数カ国のみです）

● 狂犬病予防法（昭和25年発令・平成10年改正）

我が国には、「狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止し、及びこれを撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図ることを目的とする。」という趣旨の法律があり、犬を家族に持つ方はこれを守らねばならないわけです。以下どんなことが定められているか抜粋を記載します。面倒でしたら読み飛ばして下さい。

- ・犬の所有者は、犬を取得した日から30日以内（生後90日以内の子犬を取得した場合は、生後90日を経過した日）に所定の登録申請をしなければいけない。

- ・登録申請があったときには、原簿に登録されたうえ、犬の所有者に犬の鑑札が交付されるので、所有者は、その鑑札を犬につけておかなければならない。
- ・犬の所有者は、毎年1回、その所有する犬につき所定の狂犬病予防注射を受けさせなければならない。
- ・予防注射を受けた犬の所有者は、交付された注射済票をその犬に着けておかなければならない。
- ・登録を受けた犬の所有者は、その犬が死亡したときや、犬の所在地その他の事項を変更したときには、30日以内に所定の届出をしなければならない。登録を受けた犬の所有者が変わったときには、新所有者は、30日以内に所定の届出をしなければならない。

以上をおこたると20万円以下の罰金。

要は、愛犬はお国に登録し、狂犬病の予防接種をうけ、発行される鑑札・済票をつけておかなければならない、怠ると罰金ですよ、ということです。

● なぜ犬だけが予防接種をうけるの？

あらゆる哺乳類が感染するのに犬だけが予防接種、登録を義務付けられていることを不思議に思われることでしょう。理由は人への感染のほぼすべてが犬からによるものだからです。猫に関しても法律による定めがありますが、私の調べたところでは、輸出入に関する場合、罹患およびその疑いがある場合に限るようです。

狂犬病予防法は犬より人を守るためといった目的が大きいのです。

● 副作用は？

あります。どんなワクチンも100%安全というわけではありません。狂犬病ワクチンの主な副作用はアナフィラキシーです。身体に入った抗原に対して過剰な免疫反応を起こすことです。データによれば、1歳以下、10歳以上の子に多く起こり、ほぼ12時間以内に症状が現れます。重篤な場合は死に至ります。

とても心配になりますよね。インターネットの一部のサイトでは非常に危険なワクチンであるかのようなことを言っていますがこれはウソ。副作用を起こす確率は他のワクチンに比べても極めて低いです。実際に当院で過去30年以上の間に重い副作用を起こした子はいません。ちょっと元気がなくなることはありますが。

「近年における動物用狂犬病ワクチンの副作用の発生状況」という研究発表がなされ安全性が確認されています。とはいえ皆無とはいえない副作用ですから、皆様をお願いしたいのはなるべく病院で接種を受けていただきたいということです。集団注射の会場では、1頭の子に十分な時間が取れませんし、多くの犬が集まる環境は犬にストレスを与えベストコンディションでの接種とは言えないためです。

病院で健康状態を確認し、接種後最低6時間は様子を見られるときにうたれるのが望ましいです。

● 我が国の狂犬病予防の現状は？

接種率は近年低下の傾向にあります。厚生労働省の発表では平成23年度の狂犬病予防注射率は72.8%です。けれどこれは登録されている犬が注射を受けた割合で、未登録の犬は含まれていないのです。少し前のペットフード工業会の全国調査による犬の飼育頭数に対しての接種の割合は約40%と試算されています。この数字は、WHOが狂犬病の流行を防ぐために必要とされる70%のガイドラインを大きく下回っています。日本ではもう長いこと狂犬病はでていないから注射は必要ない、というのは大きな間違いです。年々進む国際化で外国からの動物の流入が増加しています。また、検疫制度があるとはいえ、船に紛れ込んだ小動物の上陸の可能性は否定できないでしょう。2003年にはポリビアで、感染したハムスターの輸入により多くの犠牲者がでた事例もあります。

狂犬病予防接種とは、今罹る心配があるから接種するのではなく、万一日本に狂犬病ウイルスが入り込んだときのために人や犬猫やその他の動物を守るための防衛対策です。

ちょっとしつけのお話です

あらためてですが・・・“しつけ”とは犬を服従させ命令にしたがわせることではありません。人と犬とが幸せな社会生活を送れるように必要なマナーを習慣づけて教えることです。人と犬との意思疎通の方法の一つでもあります。指示されたことが出来たときの、嬉しくて、得意そうな愛犬の顔！こんな笑顔がたくさん見られるようにいろいろなことを教えてあげましょう。とは言っても、ちっとも止めて欲しい行動がなおらずお困りのこともあるかと思います。「いぬのきもち」という雑誌に興味を惹かれました記事がありましたのでご紹介したいと思います。

吠えグセ 修正するのが大変難しく、またご相談の多い問題です。この方法は裏ワザとして紹介されています。犬の理解力を考えると理にかなった方法とも思えますが、犬によっては吠える問題が悪化することもありますのでご注意ください。また現在気にならない程度の吠え方の子には行わないで下さい。

・吠えたらほめる

チャイムなどに吠えたらほめてもっとほえさせる。

・ストップといいおやつを差し出す

吠えているうちに「ストップ！」と大き目の声でいい、おやつを握った手を犬の鼻面に近づける。

・ほえやんだらおやつを与える

ストップのかけ声とおやつで、犬が我に返り吠え止んだら、すかさず握っていたおやつを与えてほめる

外でしか排泄しない 過去に室内でトイレができていたのに、屋外で排泄するようになったら室内ではしてくれない、とこれもよくあるご相談です。屋外でトイレをしそうになったら、すかさずペットシーツを敷き、トイレ=ペットシーツ、と学習させるようにお話してきましたが、こんな方法も紹介されていました。

“愛犬が好む排泄場所を室内で再現してきっかけづくりをする” 愛犬が屋外のどんな場所で排泄するかを観察し、できるだけそれに似た状態を屋内に再現してみる。

例) ・落ち葉をしく・砂利を敷く・下に水が通るタイプの人工芝を敷く・他の犬が排泄したシートをトイレシートの下に敷く。高い位置にオシッコをかける子にはプラスチックの生垣やペットボトル(電柱のつもり)をトイレの縁に立てかける。

—「いぬのきもち」中村 太 先生 著より抜粋—

究極のトイレしつけは、コマンド(指示)で排泄できるようになることです。盲導犬などは「ワンツー」という言葉で排泄するようにお勉強します。これはちょっとハードルが高い・・・ですね。愛犬が過ごす環境は変化する可能性があります。また現代ワンコは一緒にお出かけの機会も増えています。先にも書きましたように、屋外屋内を問わず、ペットシーツ=トイレ、と覚えることはとても役立つことと思います。

編集後記

私は“ペット”という言葉が好きではありません。ペット=愛玩動物 なんか違う・・・と思われませんか？

皆様にとって愛犬愛猫は単に可愛がるだけの対象ではなく、共に生きる家族だと思います。近年使われてきた“コンパニオンアニマル”という言葉は、一方向的愛情の対象としてではなく、心が通じ合う対象として考えようとする立場から使われだした言葉です。良い言葉ですね。

最近読んだ雑誌に野良猫が庭に排泄をして困るので良い方法はないかという質問にこんな回答がありました。

回答:庭に猫用のトイレを置く。これを読んだ時に、回答者は動物に優しい人なんだろうと心が温かくなりました。

まだまだ寒さとの戦いの日々です。どうぞお風邪など召しませんようご自愛下さいませ。



フィラリア予防薬に関するアンケート

これまで当院では、健康時にお薬を飲ませることで投薬に慣れていただきたいとの趣旨で、月に1回の錠剤をお勧めしてまいりましたが、お薬を飲ませるのが大変とお声も耳にし、改めてフィラリア予防薬についての皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。以下のうちで良いと思われるものに丸をつけて下さい。その他フィラリア予防に限らず、ご意見等ございましたら是非お聞かせ下さい。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- a 従来の月に1回、8ヶ月間（8回）飲ませる錠剤。
- b 牛肉を主原料にした美味しい（そうです）半生状態のおやつ感覚の薬。
- c 昨年秋に発売された1回の注射で1年間効く薬。もちろん認可のとれた薬ですが、我が国での使用例がまだ僅かなため副作用等に関して若干の危惧を感じております。
- d 特に希望なし

*** 看護師さん募集中です。よろしくお願いいたします ***